

目次

CONTENTS

- I. ご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- II. 平成28年度公開講座開設一覧表・・・・・・・・ 2
- III. 平成28年度公開講座実施期間一覧表・・・・ 4
- IV. 受講手続き等について・・・・・・・・・・・・ 8
- V. 公開講座科目内容の紹介・・・・・・・・・・・・ 10
- VI. 各学部等で進められている地域連携・・・・ 44
- VII. 宇都宮大学までの交通・・・・・・・・・・・・ 57
- VIII. 宇都宮大学構内建物配置図・・・・・・・・ 58
- IX. 平成28年度カレンダー・・・・・・・・・・・・ 60

平成28年度宇都宮大学公開講座受講申込書
(切り取ってお使いください)

I

ご 挨 拶

地域連携教育研究センター長
中島 宗皓

今日の少子高齢化する社会において、地域への生涯学習機会として重要な役割を担っている大学公開講座は、今や全国で年間約3万講座が開講され、受講者数は約130万人を数えます。

平成3年に始まりました「宇都宮大学公開講座」は、平成28年度で26回目を迎えます。「地域に学び、地域に返す、地域と大学の支え合い」をモットーに、「知の拠点」として地域への生涯学習機会の提供、社会人の再教育の場として地域連携を積極的に推進し、大学の第3の機能となります「社会貢献」の役割を担っています。

ところで、2012年の「敬老の日」に総務省がまとめた推計人口によりますと、65歳以上の高齢者人口は3074万人で過去最多となりました。いわゆる「団塊の世代」が60歳代を迎え、人口比に対して大きな割合を占める高齢者が、今後より豊かな生活を営む上で、大学公開講座は地域の生涯学習関連機関・団体と連携を図り、地域社会の発展に寄与することが期待されています。

さて、「一挨一拶、その深淺を見んと要す。」という禅の教えがございます。「挨・拶」には「迫る・押す」という意味があり、本来は禅問答によって相手の深淺を計ることを意味します。地域と結びつき、大学独自の講座として発展していくためにも、宇都宮大学公開講座は、より幅広い年齢層の受講者の皆様より、「一挨一拶」の機会を戴けることを切望して止みません。

Ⅱ
平成28年度公開講座開設一覧

No.	公開講座名	担当講師	ページ
連携講座	1 「伝え方」と「伝わり方」との隙間 —記事の「書き手」と「読み手」との対話—	宇都宮大学 教員 3名他	10
	2 男女共同参画による地域づくり —女性の活躍推進と男性にとっての男女共同参画—	慶應義塾大学法学部教授 片山善博	11
	3 消費者力アップセミナー —自立した消費者を目指しましょう!—	栃木県くらし安全安心課職員 栃木県消費生活センター 消費生活相談員	12
	4 現地で学ぶ「宇都宮学」 —「武士もののふの夢が原」飛山城跡をたずねる—	宇都宮市文化財ボランティア協議会 会長 上野 とも子 他4名	13
	5 アイヌ文化を学ぶ	北海道大学教授 落合 研一 他1名	14
	6 宇都宮城と蓮池 8 —中世のハスの再生—	教育学部教授 松居 誠一郎 他5名	15
	7 里山で楽しむランプリング —ぶらぶら歩きながら茂木の里山を撮り食べ合う—	農学部教授 大久保 達弘 他4名	16
	8 鳥獣管理士養成講座	名誉教授 小金澤 正昭 他9名	17
国際理解・外国語	9 韓国料理の魅力 —韓国家庭料理を中心に魅力を味わおう—	韓国料理研究家 金 学英	18
	10 タイ料理入門 —タイ料理の特徴を知り、食材に親しむ—	タイ料理研究家 泉田 スジンダ	19
	11 韓国語講座 —中級コースⅠ・Ⅱ—	国際学部非常勤講師 金 多希	20-22
	12 「話しあいファシリテーション」の理論 と実践 2016 —「言いあい」と「聞きあい」とでは全く違う!—	地域連携教育研究センター 准教授 佐々木 英和	23
教養・文化・コミュニケーション	13 漱石のすべてⅠ・Ⅱ	名誉教授 作新学院大学大学客員教授 小池 清治	24
	14 書道 —初級・中級・上級・専門—	地域デザイン科学部教授 中島 宗皓	25-28
	15 シャーロック・ホームズの世界に遊ぶ —『事件簿』を通して—	名誉教授 大関 清太 他3名	29
	16 放射能ってどんなもの? —放射能、放射線についての解説—	農学部教授 川崎 秀樹	30
	17 ゲノム、遺伝子、細胞 —自分の体、ニュースを理解するために—	農学部教授 川崎 秀樹	31

Ⅲ 平成28年度公開講座実施期間一覧表

No.	講 座 名	定員	受講料	4月			5月		
				上	中	下	上	中	下
1	「伝え方」と「伝わり方」との隙間 — 記事の「書き手」と「読み手」との対話 —	200	0						
2	男女共同参画による地域づくり — 女性の活躍推進と男性にとっての男女共同参画 —	150	0						
3	消費者カアップセミナー — 自立した消費者を目指しましょう！ —	20	0						
4	現地で学ぶ「宇都宮学」 — 「武士もののふの夢が原」飛山城跡をたずねる —	30	0						
5	アイヌ文化を学ぶ	20	0						
6	宇都宮城と蓮池 8 — 中世のハスの再生 —	30	0						
7	里山で楽しむランブリング — ぶらぶら歩きながら茂木の里山を撮り食べ合おう —	20	10,000						
8	鳥獣管理士養成講座	20	15,000						
9	韓国料理の魅力 — 韓国家庭料理を中心に魅力を味わおう —	12	5,000						5/30~7/11(
10	タイ料理入門 — タイ料理の特徴を知り、食材に親しむ —	12	5,000						6/1
11	韓国語講座 ①韓国語中級Ⅱコース — もっと話せる韓国語 —	15	10,000						6/1~8/
	韓国語講座 ②韓国語中級Ⅰコース — 今すぐ話せる韓国語 —	15	10,000						
	韓国語講座 ③韓国語中級Ⅱコース — もっと話せる韓国語 —	15	10,000						
12	「話しあいファシリテーション」の理論と実践 2016 — 「言いあい」と「聞きあい」とでは全く違う！ —	15	10,000						
13	漱石のすべてⅠ	20	5,000						6/2
	漱石のすべてⅡ	20	5,000						
14	書道 ①初級コース	12	5,000						
	書道 ②中級コース	12	5,000						
	書道 ③上級コース	12	5,000						
	書道 ④専門コース	12	5,000						
	—	4	—						

6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月					
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
												10/22~12/17(土) 13:30~15:30 (全3回)																				
						8/26(金) 13:30~15:30 (全1回)																										
												11/25(金) 10:30~15:00 (全1回)																				
												11/8~11/15(火)10:00~12:30 (全2)																				
												11/19(土)10:00~15:00 (全1)																				
7/16・10/13~10/15(木・金・土)13:00~17:00 (全6)																																
												6/11~12/10(土)9:00~14:00 (全4)																				
6/4~9/24(土)10:00~17:00 (全15)																																
												月)10:30~13:00 (全4回)																				
												~7/13(水)13:00~15:30 (全4)																				
3(水)14:00~16:00 (全10)																																
												8/17~10/19(水)14:00~16:00 (全10回)																				
												11/2~1/25(水)14:00~16:00 (全10)																				
5/31~11/15 (火)18:45~20:45 (全15)																																
2~6/30(木)10:00~12:00 (全5)																																
												10/6~11/10(木)10:00~12:00 (全5)																				
6/2~7/28(木)17:40~19:40 (全5)																																
												10/13~12/15(木)17:40~19:40 (全5)																				
6/9~10/6(木)17:40~19:40 (全5)																																
												10/20~12/21(木・水)17:40~19:40 (全5)																				

No.	講 座 名	定員	受講料	4月			5月		
				上	中	下	上	中	下
15	シャーロック・ホームズの世界に遊ぶ －「事件簿」を通して－	15	10,000						6
16	放射能ってどんなもの？ －放射能、放射線についての解説－	15	5,000						
17	ゲノム、遺伝子、細胞 －自分の体、ニュースを理解するために－	15	5,000						
18	役に立つ気象学 －実生活にすぐ活用できる役立つ気象学－	20	5,000					6/28	
19	クラシック音楽への招待 3 －オーケストラ音楽の楽しみ方 3－	20	5,000						
20	フィットネスウォーキング －ボールウォーキング・ヨガの運動を通じ、健康づくりと出会いを学ぶ－	20	5,000						
21	基礎から学ぶ朗読講座 ①初級コース	20	5,000					5/27～7/2	
	基礎から学ぶ朗読講座 ②中級コース	20	5,000					5/27～7/	
22	文化と人生 －生きるとは何か－	20	5,000					6/2～6/	
23	ラフカディオ・ハーンと日本 －日本に魅せられた八雲の世界－	15	10,000						
24	栃木で考える防災と災害復興	15	5,000					6/3～7/	
25	ペーテルを考える（医療・福祉の町） － 真の共生を求めて －	20	10,000						
26	自然とともに	10	5,000						
27	民俗学からみた栃木 No.7 － 祭りに見る下野人の心意気 －	20	5,000						
28	いのちをいただきます － 食と農の視点で、食卓から健康までを考える －	15	5,000						
		－ 6	－						

6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3/2~11/10(水・木)13:30~15:30(全10)																													
															8/27~9/24(土)10:00~12:00(全5)														
															10/29~12/3(土)10:00~12:00(全5回)														
~7/26(火)14:00~16:00(全5)																													
															8/23~9/8(月・火・水・木)19:00~21:00(全5回)														
6/11~10/8(土)14:00~16:00(全5回)																													
2(金)10:00~12:00(全5)																													
22(金)16:00~18:00(全5)																													
30(木)16:00~18:00(全5)																													
6/6~11/14(月)10:00~12:00(全10回)																													
1(金)13:30~15:30(全5回)																													
															10/20~2/9(木)13:30~15:30(全10回)														
9/28(水)19:00~21:00															10/2~10/23(日)9:30~13:30(全3回)														
															9/6~10/4(火)13:30~15:30(全5回)														
															8/6~12/3(土)13:30~15:30(全5回)														

IV 受講手続き等について

今年度より申込方法が変わりましたのでご注意ください。

1. 受講対象者

どなたでも受講できます。

2. 申込方法・申込期間

お申し込み～受講までの流れ

① 受講申し込み

平成28年4月4日(月)～5月9日(月) 必着

受講申込書(巻末またはホームページからダウンロードできます。)に必要事項を記入し、FAX・郵送・メールでお申し込みください。ホームページからもお申し込みできます。申し込み多数の場合は、抽選となりますのでご了承ください。定員に達しない場合は、締め切り後も随時募集します。

② 受講可否の通知

平成28年5月10日(火)より順次発送

③ 受講料の納入

平成28年5月11日(水)～5月25日(水)

「受講通知」に記載されている指定口座にお振り込みください。詳細は「受講通知」にてご確認ください。

④ 受講

受講確定後、講座開始日時の変更・中止などの特別な場合以外はご連絡いたしません。開講日に直接会場までお越しください。

3. 公開講座実施会場

地域連携教育研究センター(峰町5号館C棟2階)

※講座の都合により、ほかの会場を使用する場合があります。

各講座の注意事項をご確認ください。

4. 公開講座修了証書の授与

所定の課程（全日程の3分の2以上の出席）を修了した方には修了証書を発行いたします。（有料講座のみ）

5. とちぎ県民カレッジ連携講座について

全ての講座は、とちぎ県民カレッジと連携しています。講座の修了者は、希望により、とちぎ県民カレッジ連携から単位が認定されます。詳細は、栃木県総合教育センター生涯学習部（TEL 028-665-7206）へお問い合わせください。

6. 注意事項及びお願い

①受講料の払い戻しは、当センターの都合により受講不可能となった場合を除いて原則行いません。

②受講料の他にテキスト代、教材費、傷害保険料等が必要な講座があります。各講座の注意事項をご確認ください。尚、記載事項以外に必要になった場合はご連絡いたします。

③受講申込者が最小開講人数6名に満たない場合、当該講座を中止させていただくことがあります。

④車で来校される方へ

※お申し込み等で起こしの場合は、正門案内所にその旨をお伝えください。

※受講される場合は、入構許可証を発行いたします。受講申込書の車両番号欄に使用車両のナンバーをご記入ください。

入構許可証のない車両は本学構内に入構できない場合があります。

〈 お問い合わせ先 〉

宇都宮大学地域連携教育研究センター

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350

TEL 028-649-5144

FAX 028-649-5145

E-mail chiren@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/cercc/>

(月～金 10:00～12:00/13:00～17:00)

〈 公開講座お申し込み先 〉

宇都宮大学地域連携教育研究センター

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350

FAX 028-649-5145

E-mail kouza@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

期日 曜日 時間帯
10月22日～12月17日 土曜日 13:30～16:00

読売新聞社・宇都宮大学共催公開講座

1. 「伝え方」と「伝わり方」との隙間

－記事の「書き手」と「読み手」との対話－

担当講師

地域連携教育研究センター准教授	佐々木 英和
教育学部教授	鈴木 啓子
国際学部教授	松金 公正

講座の内容

マイナンバーか背番号か、終戦か敗戦か、親の保護か管理か……。意図的な印象操作をしなくても、情報の送り手の言葉の選び方によって、受け手の受け止め方や受け取り方は大きく変わります。本講座では、情報がどのように伝えられ伝わっていくかというコミュニケーションや文化形成の諸様相を、雑誌新聞記事を書く側と読む側との対話の根本問題として設定し、多角的かつ深く考察していきます。

定 員 200名

受 講 料 無料

プログラム 全3回

- | 月 日 | テーマ | 担当講師 |
|--------------|--|------|
| 1. 10月22日(土) | 日常コミュニケーションの教育学
－「何を伝えるか」と「何で伝わるか」－ | 佐々木 |
| 2. 11月26日(土) | 出版メディアからみる日本文学
－作者と読者の交流、「名作」はいかにして生まれるか－ | 鈴木 |
| 3. 12月17日(土) | 話題設定の仕方から捉え直す
－「気にしすぎる」と「知られないままのこと」－ | 松金 |

そ の 他

会 場 : 5B21教室(峰町5号館B棟2階)

○3回連続講座ですので、毎回出席できる人の受講を優先します。

期日
11月25日

曜日
金曜日

時間帯
10:00~15:00

栃木県県民生活部くらし安全安心課消費者行政推進室との共催

3. 消費者力アップセミナー

—自立した消費者を目指しましょう！—

担当講師

栃木県くらし安全安心課
栃木県消費生活センター

職員
消費生活相談員

講座の内容

消費生活に関する基礎知識を習得し、消費者トラブルの未然（拡大）防止と自立した消費者を目指します。また、消費者被害防止の観点から地域における高齢者等の見守りを行うポイントを学びます。

定員 20名

受講料 無料

プログラム 全1回

月日 テーマ

1. 11月25日(金)

〈第1部〉 10:00~12:00 最近の悪質商法

〈第2部〉 13:00~15:00 高齢者を消費者被害から守るために

その他

- 第1部と第2部の両方を受講してください。
- 第1部と第2部の間に各自昼食をお取りください。
教室での飲食もできます。

期日 曜日 時間帯
11月8日～11月15日 火曜日 10:00～12:30

NPO法人飛山城跡愛護会との共催

4. 現地で学ぶ「宇都宮学」

－「武士もののふの夢が原」飛山城跡をたずねる－

担当講師

宇都宮市文化財ボランティア協議会会長
NPO法人飛山城跡愛護会
とびやま歴史体験館グループリーダー

上野 とも子

NPO法人飛山城跡愛護会会員解説ボランティア

鈴木 幸雄・荒井 俊典
大野 昭二・吉澤 伸人

講座の内容

飛山城跡は地域の人々と行政の協働で保存と活用が維持されています。会員の解説ボランティアによる案内で、鎌倉時代後半、芳賀高俊により築城されたと伝えられる飛山城とその周辺の史跡をたずねます。

定員 30名

受講料 無料

プログラム 全2回

- | 月日 | テーマ | 担当講師 |
|--------------|---------------|----------|
| 1. 11月8日(火) | 国指定史跡 飛山城をめぐる | 上野・鈴木・荒井 |
| 2. 11月15日(火) | 飛山周辺の史跡をたずねる | 上野・大野・吉澤 |

その他

○集合場所は「とびやま歴史体験館」です。

宇都宮市竹下町 380-1 TEL 028-667-9400

○雨天決行・中止の場合のみ、各受講者に連絡をします。

○**傷害保険料 400円**を別途ご負担お願いします。

初回に集めますのでおつりのないようにお持ち下さい。

期日 曜日 時間帯
11月19日 土曜日 10:00~15:00

(財)アイヌ文化振興・研究推進機構との共催

5. アイヌ文化を学ぶ

— 講座と演奏 —

担当講師

北海道大学准教授
地域デザイン科学部准教授
民俗音楽演奏家

落合 研一
若園 雄志郎
星野 工

講座の内容

アイヌ民族は日本国内各地に居住する先住民族です。例年アイヌ文化および歴史について講座を行ってきましたが、今回の午前の部ではアイヌ民族の現状について学ぶことで私たちの人権感覚を磨きます。午後の部ではアイヌ民族伝統楽器のトンコリおよびムックリの演奏を行います。

定員 30名

受講料 無料

プログラム 全1回

月日

テーマ

1. 11月19日(土) アイヌ民族の現状と文化
〈第1部〉講義 10:00~12:00
〈第2部〉演奏 13:00~15:00

期日 曜日 時間帯
7月16日～10月16日 木・金・土 13:00～17:00

宇都宮城跡蓮池再生検討委員会との共催

6. 宇都宮城と蓮池 8

— 中世のハスの再生 —

担当講師

教育学部教授	松居誠一郎
栃木県写真家協会理事	大手 義雄
宇都宮城跡蓮池再生検討委員会事務局長	印南 洋造
栃木県立博物館主任研究員	飯塚 真史
俳人協会正会員	加茂 都紀女
群馬県太田市文化財課	

講座の内容

江戸期の絵図には蓮池などの記述があったことから、蓮池跡には必ずや蓮の実があるものと、多くの市民の協力をいただき蓮の実を発見しました。中世後期以降とされる蓮の実から、平成23年7月に淡紅色の綺麗な花が開花しました。この講座では宇都宮城の蓮池に関する宇都宮の文化等を多面的に発掘し報告します。

定員 30名
受講料 無料
プログラム 全6回

月日	テーマ	担当講師
1. 7月16日(土)	館林市・太田市見学(学外)	太田市文化財課
2. 10月13日(木)	蓮守を育てる	印南
3. 10月14日(金)	奥の細道2600 ^{キロ} を歩く	加茂
4. 10月14日(金)	蓮池周辺の自然環境Ⅷ	松居
5. 10月15日(土)	第14回栃木花蓮写真展作品講評	大手
6. //	近世下野の水運	飯塚

その他

会場等 : 7月16日(土) 学外
(大学バスを利用します。詳細は後日郵送します。)
10月13日(木) 地域連携教育研究センター
10月14日(金)・15日(土) 大学会館トークルームⅠ

○**傷害保険料 200円**を別途ご負担お願いします。初回に集めますので、おつりのないようにお持ちください。他の実費等につきましても、各自ご負担願います。

○蓮写真展

日時：10月13日・14日 9時～16時、15日 9時～14時
場所：大学会館多目的ホール

期日 曜日 時間帯
6月11日～12月10日 土曜日 9:00～14:00

雑草と里山の科学教育研究センターとの共催
7. 里山で楽しむランブリング
—ぶらぶら歩きながら茂木の里山を撮り食べ語り合—

コーディネーター

雑草と里山の科学教育研究センター 平井 雅世

担当講師

農学部教授 大久保 達弘

地域デザイン科学部教授 原田 淳

里山料理人 仲川 久雄

里山記録写真家 柳下 征史

虹色の里あじ彩協議会

協力

茂木町 道の駅もてぎ

講座の内容

茂木町～那須烏山市の里山を、ゆっくり歩きながら季節ごとの風景や自然を楽しみ、写真に収め、地域ならではの食材を味わい、地元の方々と語りあう4回の日帰りツアーです。初夏のぶらぶら歩きでは、古道や棚田などを散策します。また、自ら生産農家を訪問して収穫した野菜を、同行するシェフがキッチンカーで料理し、それらをいただく予定です。秋には、里山記録写真家と一緒に、古民家で秋の里山の恵みを楽しみます。最終回は、各自が撮りためた写真を「道の駅もてぎ」ギャラリーにて展示し、フォトコンテストを行います。里山の魅力を満喫できるプログラムです。

定員 20名

受講料 10,000円

プログラム 全4回

月日

テーマ

担当講師

1. 6月11日(土) 苔玉づくりと里山古道散策(茂木町) 大久保・原田・平井
・虹色の里あじ彩協議会
2. 7月9日(土) 農産物収穫体験とキッチンカー料理で楽しむ夏の里山の恵み(茂木町) 大久保・原田・平井・仲川
3. 11月5日(土) みかんの収穫と古民家で楽しむ秋の里山の恵み(那須烏山市) 大久保・原田・平井・柳下
4. 12月10日(土) 「私の里山」フォトコンテストとまちなか散策 大久保・原田・平井

その他

○**傷害保険料800円**をご負担お願いします。初回に集めます。○大学のバスを利用します。正門案内所前8:40集合、8:50出発です。帰路は「道の駅もてぎ」に立ち寄ります。○実費として各回2000円程度必要です。昼食は、地元産の食材を使用したお料理をいただきます。○講座で撮った写真を12月初旬より道の駅もてぎ内ギャラリーに展示します。フォトコンテストへの参加は自由です。画像処理はお手伝いします。

期日 曜日 時間帯
 6月4日～9月24日 土曜日 10:00～17:00
 (一般社団法人)鳥獣管理技術協会との共催

8. 鳥獣管理士養成講座

担当講師

名誉教授	小金澤 正昭
農学部教授	杉田 昭栄
地域デザイン科学部教授	高橋 俊守
鳥獣管理技術協会	辻岡 幹夫
鳥獣管理士	高橋 則夫
農林水産省中央農業総合研究センター	仲谷 淳
長岡技術科学大学准教授	山本 麻希
新潟大学農学部助教	望月 翔太
日本獣医生命科学大学教授	羽山 伸一
鳥獣管理士	阪本 勝憲
あきやま有機農村未来塾	関塚 学

講座の内容

農作物や森林被害、生活安全など、全国各地で深刻化しつつある、人と野生鳥獣の軋轢問題を解消するために必要な知識と技術を学びます。地域の鳥獣被害を自治体や専門家らと連携して解決する「鳥獣管理士」を目指す方を対象にしています。修了すると、一般社団法人鳥獣管理技術協会が実施する鳥獣管理士(3級)資格試験の受験資格が得られます。

定員 20名 受講料 15,000円

プログラム 全15回

月日	テーマ	担当講師
1. 6月4日(土)	野生鳥獣管理基礎と被害防止技術	小金澤
2. 6月4日(土)	自治体による鳥獣対策の現状と課題	辻岡
3. 6月4日(土)	鳥獣管理と地域連携	高橋(俊)
4. 6月11日(土)	鳥獣被害の現場(学外学習)	高橋(則)
5. 8月20日(土)	野生鳥獣の生態と保護管理	小金澤
6. 8月20日(土)	イノシシによる農作物被害と管理	仲谷
7. 8月20日(土)	カワウによる被害と保護管理	山本
8. 8月27日(土)	外来種による被害と管理	羽山
9. 8月27日(土)	サルによる農作物被害と管理	望月
10. 9月17日(土)	鳥獣被害と対策の実際(学外学習)	阪本
11. 9月24日(土)	集落環境診断と住民意識	高橋(俊)
12. 9月24日(土)	シカによる森林生態系被害と管理	小金澤
13. 9月24日(土)	カラスによる被害と管理	杉田・関塚

その他

○**傷害保険料400円**をご負担お願いします。初回に集めます。講義と学外学習から構成されています。講義、学外学習ともに10時から17時までです。学外学習では、水田あぜ道や林の中を歩きます。長靴をご用意ください。

期日 曜日 時間帯
5月30日～7月11日 月曜日 10:30～13:00

9. 韓国料理の魅力

— 韓国家庭料理を中心に魅力を味わおう —

コーディネーター

地域デザイン科学部教授 大森 玲子

担当講師

韓国料理研究家 金 学栄

講座の内容

韓国料理に興味がある方のための講座です。韓国家庭料理の基本的な食材や作り方について学ぶとともに、韓国宮廷料理についても紹介します。

定員 12名
受講料 5,000円
プログラム 全4回

月日 テーマ

1. 5月30日(月) 韓国家庭料理1
2. 6月13日(月) 韓国家庭料理2
3. 6月27日(月) 韓国家庭料理3
4. 7月11日(月) 韓国家庭料理4 (宮廷料理を含む)

その他

**会場 : 教育学部8号館B棟2F調理実習室
10時から入室できます。**

- 材料費として別途3,000円が必要です。
初回に集めますのでおつりのないようにお持ちください。
- 調理実習(3～4名/班)を行いますので、エプロン・三角巾・手拭き等を持参してください。
- 食べきれない分は個人の判断において持ち帰っていただいても大丈夫です。容器等は持参ください。

期日 曜日 時間帯
6月1日～7月13日 水曜日 13:00～15:30

10. タイ料理入門

—タイ料理の特徴を知り、食材に親しむ—

コーディネーター
地域デザイン科学部教授 大森 玲子

担当講師
タイ料理研究家 泉田スジンダ

講座の内容

タイ料理に用いられる調味料や香辛料には、日本食では使用されない特徴的な風味をもつものがあります。この講座では、タイ料理の特徴を知り、用いられる食材に親しむことを目的としています。

定員 12名
受講料 5,000円
プログラム 全4回

月日 テーマ

1. 6月1日(水) タイ料理の特徴と食材 (講義と簡単な実習)
2. 6月15日(水) タイ料理の基礎1 (実習)
3. 6月29日(水) タイ料理の基礎2 (実習)
4. 7月13日(水) タイ料理の基礎3 (実習)

その他

**会場 : 教育学部8号館B棟2F調理実習室
12時半から入室できます。**

- 材料費として別途3,000円が必要です。
初回に集めますのでおつりのないようにお持ちください。
- 調理実習(3～4名/班)を行いますので、エプロン・三角巾・手拭き等を持参してください。
- 食べきれない分は個人の判断において持ち帰っていただいても大丈夫です。容器等は持参ください。

期日 曜日 時間帯
6月1日～8月3日 水曜日 14:00～16:00

11. 韓国語講座

コ-ディネ-ター

国際学部教授

丁 貴連

① 韓国語中級Ⅱコース

—もっと話せる韓国語—

担当講師

国際学部非常勤講師

金 多希

講座の内容

韓国語の初級コース、中級Ⅰコースで習得した文法やフレーズを確かめながら、韓国語でもっと話せるためのレベルアップを目指します。

定員 20名
受講料 10,000円
プログラム 全10回

月日 テーマ

1. 6月1日(水) 中級Ⅰコース復習
2. 6月8日(水) 推測・感想(～는 것 같다, ～네요)-비가 많이 오는 것 같아요.
3. 6月15日(水) 状況説明・意図(～는데, ～(을)르래요)-감기는 다 나왔어요?
4. 6月22日(水) 仮定・許可(～아도/어도, ～(으)면 안되다)-여기서 사진을 찍어도 돼요?
5. 6月29日(水) 状態・確認(～(으)면 되다, ～지요)-경복궁은 어떻게 가면 되지요?
6. 7月6日(水) 条件・変化(～아야/어야 하다, ～아, 어지다)-주말에도 학교에 가야 해요.
7. 7月13日(水) 並列・決定(～거나, ～기로 하다)-배가 불러서 더 못 먹겠어요.
8. 7月20日(水) 可能・理由(～(을)르 수 있다/없다, ～기 때문에)-열시까지 올 수 있어요?
9. 7月27日(水) 伝聞・願望(～ㄴ/는 다고 하다, ～(으)면 좋겠다)-눈이 많이 왔대요.
10. 8月3日(水) 総まとめ

その他

テキスト：韓国語をはじめよう（中級）李昌圭 朝日出版社

期日 曜日 時間帯
8月17日～10月19日 水曜日 14:00～16:00

11. 韓国語講座

コ-ディネーター

国際学部教授

丁 貴連

②韓国語中級 I コース

—今すぐ話せる韓国語—

担当講師

国際学部非常勤講師

金 多希

講座の内容

韓国語の初級コースで習得した文法や基本フレーズを確かめながら、少しずつ表現力を養い、今すぐ話せる韓国語を増やしていくことを目指します。

定員 20名
受講料 10,000円
プログラム 全10回

月日 テーマ

1. 8月17日(水) 初級コース復習
2. 8月24日(水) 理由(～아/어/해서)-늦어서 미안합니다.
3. 8月31日(水) 希望・願望表現(～고 싶다)-비빔밥을 먹고 싶어요?
4. 9月7日(水) 意図・意志(～ㄹ(을)게요) -요즘 바빠요?
5. 9月14日(水) 連体形(～는/ㄴ(은)/ㄹ(을))-어디서 찍은 사진이에요?
6. 9月21日(水) 経験(～아/어/해 보다) -자세히 설명해 드리겠습니다. 아, 어지다)-주말에도 학교에 가야 해요.
7. 9月28日(水) 時間の経過(～ㄴ(은)지) -한국에 온 지 얼마나 되었어요?
8. 10月5日(水) 仮定文(～(으)면)-미술관은 여기서 가까워요?
9. 10月12日(水) 動作の並行(～(으)면서)-운전하면서 전화하지 마세요.
10. 10月26日(水) 総まとめ

その他

テキスト：韓国語をはじめよう（中級）李昌圭 朝日出版社

期日 曜日 時間帯
11月2日～1月25日 水曜日 14:00～16:00

11. 韓国語講座

コ-ディネ-ター

国際学部教授

丁 貴連

③韓国語中級Ⅱコース

—もっと話せる韓国語—

担当講師

国際学部非常勤講師

金 多希

講座の内容

韓国語の初級コース、中級Ⅰコースで習得した文法やフレーズを確かめながら、韓国語でもっと話せるためのレベルアップを目指します。

定員 20名
受講料 10,000円
プログラム 全10回

月日 テーマ

- 11月2日(水) 中級Ⅰコース復習
- 11月9日(水) 推測・感想(～는 것 같다,～네요)-비가 많이 오는 것 같아요.
- 11月16日(水) 状況説明・意図(～는데,～(을)르래요)-감기는 다 나왔어요?
- 11月30日(水) 仮定・許可(～아도/어도,～(으)면 안 다)-여기서 사진을 찍어도 돼요?
- 12月7日(水) 状態・確認(～(으)면 되다,～지요)-경복궁은 어떻게 가면 되지요?
- 12月14日(水) 条件・変化(～아야/어야 하다,～아, 어지다)-주말에도 학교에 가야 해요.
- 12月21日(水) 並列・決定(～거나,～기로 하다)-배가 불러서 더 못 먹겠어요.
- 1月11日(水) 可能・理由(～(을)르 수 있다/없다,～기 때문에)-열시까지 올 수 있어요?
- 1月18日(水) 伝聞・願望(～ㄴ/는 다고 하다,～(으)면 좋겠다)-눈이 많이 왔대요.
- 1月25日(水) 総まとめ

その他

テキスト：韓国語をはじめよう（中級）李昌圭 朝日出版社

期日 曜日 時間帯
5月31日～11月15日 火曜日 18:45～20:45

12. 「話しあいファシリテーション」の理論と実践 2016 －「言いあい」と「聞きあい」とでは全く違う！－

担当講師
地域連携教育研究センター准教授 佐々木 英和

講座の内容

誰もが簡単にやれているようでいて、実際には案外と成立していないのが「話しあい」です。本講座は、話しあいを「話しこみ」・「黙りあい」・「言いあい」の域にとどめず、生産性の高い営みへと高めていくための基本姿勢や技法などを身につけることが目標です。

定員 15名
受講料 15,000円
プログラム 全15回

月日 テーマ

1. 5月31日(火) 「ファシリテーション」とは何か？
2. 6月7日(火) 「聞く・聴く・訊く」の深みと広がり
3. 6月14日(火) 「伝える」と「伝わる」との段差
4. 6月21日(火) プレゼンテーション洗練とPR戦略
5. 6月28日(火) ソリューション志向の話しあいの基礎
6. 7月5日(火) ソリューション志向の話しあいの実践
7. 7月12日(火) クリエーション志向の話しあいの基礎
8. 7月19日(火) クリエーション志向の話しあいの実践
9. 10月4日(火) 「話しあいファシリテーション」の実践
10. 10月11日(火) 「自己表出と仲間づくり」志向の話しあい
11. 10月18日(火) 文章作成技術を応用した会議運営
12. 10月25日(火) 「Why? What? How?」の会議運営
13. 11月1日(火) 「現実直視・問題発見」と「理想追求・方法創造」
14. 11月8日(火) 「メタ会議」の意義と効用
15. 11月15日(火) 話しあいファシリテーターの役割

その他

○プログラムを体系的に編成している都合上、第1回目(5月31日)からの受講を強くお勧めしています。また、最後まで続けて出席できる人の受講を優先しています。

期日 曜日 時間帯
8月17日～10月19日 火曜日 10:00～12:00

13. 漱石のすべて —近代文学の達成—

担当講師
名誉教授・作新学院大学客員教授 小池 清治

講座の内容
漱石の主な作品について講義する。「文学とは何ぞや」の問いから始まった漱石の文学活動の全容について

13. ①漱石のすべて I

定員	20名
受講料	5,000円
プログラム	全5回
月日	テーマ

1. 6月2日(木) 漱石年譜・吾輩は猫である
2. 6月9日(木) 倫敦塔・一夜・坊っちゃん 他
3. 6月16日(木) 趣味の遺伝・草枕
4. 6月23日(木) 野分・文芸の哲学的基礎・文学論
5. 6月30日(木) 虞美人草・坑夫

13. ②漱石のすべて II

定員	20名
受講料	5,000円
プログラム	全5回
月日	テーマ

1. 10月6日(木) 文鳥・夢十夜・三四郎
2. 10月13日(木) 永日小品・それから
3. 10月20日(木) 門・彼岸過迄・行人
4. 10月27日(木) こころ・私の個人主義
5. 11月10日(木) 硝子戸の中・明暗

その他
岩波文庫にすべてあります。

期日 6月2日～7月28日 曜日 木曜日 時間帯 17:40～19:40

14. 書道

① 初級コース

担当講師

地域デザイン科学部教授

中島 宗皓

講座の内容

書道は「藝道」という日本独自の藝術思想によって発展し、今日のアートとは本質的に異なる。本講座の目標は、「書の本道」を学び、書道をより身近なものにすることである。初級ではカタカナと楷書の基礎を学ぶ。

定員 12名
受講料 5,000円
プログラム 全5回

月日	テーマ
1. 6月2日(木)	毛筆の特性と正しい扱い方とは
2. 6月16日(木)	カタカナの正しい書き方を学ぶ
3. 6月30日(木)	楷書体の正しい書き方を学ぶ
4. 7月14日(木)	楷書の古典から臨書を学ぶ
5. 7月28日(木)	楷書とはどういう書体かを学ぶ

その他

○会場：峰町6号館2階（東）書道教室

●初心者、経験者を問いません。本学の公開講座「書道」を初めて受講される方に限ります。

○本学の公開講座「書道」の各コース修了者は受講できません。

○初級コースは、小・中学校で学ぶ国語科「書写」程度の内容から始めます。

○毛筆と下敷きは指定します。その他の用具・用材は教室で購入できます。

○16時10分より入室できますので、課題を進めるなどの自習にお使いください。なお、当日までの課題は18:10分までにお済ませください。

期日 曜日 時間帯
10月13日～12月15日 木曜日 17:40～19:40

14. 書道

② 中級コース

担当講師

地域デザイン科学部教授

中島 宗皓

講座の内容

書道は「藝道」という日本独自の藝術思想によって発展し、今日的アートとは本質的に異なる。本講座の目標は、「書の本道」を学び、書道をより身近なものにすることである。中級コースではひらがなと行書の基礎を学ぶ。

定員 12名
受講料 5,000円
プログラム 全5回

月日

テーマ

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 10月13日(木) | ひらがなの正しい書き方を学ぶ |
| 2. 10月27日(木) | 行書体の正しい書き方を学ぶ |
| 3. 11月17日(木) | 行書の古典から臨書法を学ぶ |
| 4. 12月1日(木) | 古筆から仮名の臨書法を学ぶ |
| 5. 12月15日(木) | 行書から草書、仮名とはどういう書体かを学ぶ |

その他

○会場：峰町6号館2階（東）書道教室

●本学の公開講座「書道（初級コース、または大人のお習字）」を修了された方に限ります。

○本学の公開講座「書道」の専門コース修了者は受講できません。

○経験者でも初級から受講ください。師範免許や等級などの資格は一切通用しません。

○中級コースは、国語科「書写」および高等学校芸術科「書道」程度の内容から始めます。

○毛筆と下敷きは指定します。その他の用具・用材は教室で購入できます。

○16時10分より入室できますので、課題を進めるなどの自習にお使いください。なお、当日までの課題は18:10分までにお済ませください。

期日 曜日 時間帯
6月9日～10月6日 木曜日 17:40～19:40

14. 書道

③ 上級コース

担当講師

地域デザイン科学部教授

中島 宗皓

講座の内容

書道は「藝道」という日本独自の藝術思想によって発展し、今日的アートとは本質的に異なる。本講座の目標は、「書の本道」を学び、書道をより身近なものにすることである。上級コースでは主に篆書体・隸書体・草書体を古典から学び、五体から一つ、得意とする書体の半切臨書を行う。

定員 12名
受講料 5,000円
プログラム 全5回

月日

1. 6月9日(木)
2. 6月23日(木)
3. 7月7日(木)
4. 7月21日(木)
5. 10月6日(木)

テーマ

- 楷書体と行書体の臨書を復習する
篆書体の古典臨書と表現法を学ぶ
隸書体の古典臨書と表現法を学ぶ
草書体の古典臨書と表現法を学ぶ
半切臨書(1書体)の表現法を学ぶ

その他

○会場：峰町6号館2階(東)書道教室

●本学の公開講座「書道(中級コース、または大人のお習字)」を修了された方に限ります。

○本学の公開講座「書道」の専門コース修了者は受講できません。

○上級コースはテキストを使用します。(1,000円)また、高校「書道」程度の内容から始めます。

○毛筆と下敷きは指定します。その他の用具・用材は教室で購入できます。

○第4回に半切臨書の課題を出します。専門コースへの準備として第5回に持参ください。

○16時10分より入室できますので、課題を進めるなどの自習にお使いください。なお、当日までの課題は18:10分までにお済ませください。

期日	曜日	時間帯
10月20日～12月21日	木・水曜日	17:40～19:40

14. 書道

④ 専門コース

担当講師

地域デザイン科学部教授

中島 宗皓

講座の内容

書道は「藝道」という日本独自の藝術思想によって発展し、今日的アートとは本質的に異なる。本講座の目標は、「書の本道」を学び、書道をより身近なものにすることである。専門コースでは、各自が進める制作（個別テーマ）への助言を行う。

定員	12名
受講料	5,000円
プログラム	全5回

月日

1. 10月20日(木)
2. 11月10日(木)
3. 11月24日(木)
4. 12月8日(木)
5. 12月21日(水)

テーマ

- 課題作品の鑑賞から表現法を学ぶ
個別テーマによる作品制作 その1
個別テーマによる作品制作 その2
個別テーマによる作品制作 その3
表装の様式を学ぶ（作品最終選別）

その他

○会場：峰町6号館2階（東）書道教室

●本学の公開講座「書道（上級コース）」を修了された方に限りません。

○本学の公開講座「書道（大人のお習字）」修了者は「上級コース」から受講してください。

○初回に半切以上、または相当程度の作品（臨書を含む）を持参ください。

○専門コースで制作した作品は、「宇都宮大学学生書道展」に出品します。（表装費は実費）

○専門コース（制作の時間）は、毎年何度でも受講できます。

○16時10分より入室できますので、課題を進めるなどの自習にお使いください。なお、当日までの課題は18:10分までにお済ませください。

期日 曜日 時間帯
6月2日～11月10日 水・木曜日 13:30～15:30

15. シャーロック・ホームズの世界に遊ぶ — 『事件簿』を通して —

担当講師

名誉教授	大関 清太
名誉教授	高際 澄雄
工学部准教授	寄川 弘玄
昭和女子大学教授	中西 裕

講座の内容

ドイルの最後の短編集を色々な切り口で楽しめます。一度も読んでいない人でも気軽に参加できます。

定員 15名

受講料 10,000円

プログラム 全10回

月日	テーマ	担当講師
1. 6月2日(木)	高名な依頼人	大関
2. 6月9日(木)	這う男	高際
3. 6月15日(水)	サセックスの吸血鬼	中西
4. 6月22日(水)	マザリンの宝石	寄川
5. 6月30日(木)	三破風館	大関
6. 10月6日(木)	白面の兵士	大関
7. 10月19日(水)	隠居絵具師	中西
8. 10月21日(金)	ライオンのたてがみ	高際
9. 10月27日(木)	ショスコム荘	寄川
10. 11月10日(木)	覆面の下宿人	大関

その他

『シャーロック・ホームズの冒険』は文庫本で購買できます。

期日
8月27日～9月24日

曜日
土曜日

時間帯
10:00～12:00

16. 放射能ってどんなもの？

－放射能、放射線についての解説－

担当講師

農学部教授

川崎 秀樹

講座の内容

放射能、放射線についての解説から、人体への影響について分かりやすく解説を行う。

定員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月日

テーマ

1. 8月27日(土) 放射能ってどんなもの？
2. 9月3日(土) 放射線って危険なの？
3. 9月10日(土) 内部被曝と外部被曝
4. 9月17日(土) 身近な被曝
5. 9月24日(土) 福島を考える

期日	曜日	時間帯
10月29日～12月3日	土曜日	10:00～12:00

17. ゲノム、遺伝子、細胞

—自分の体、ニュースを理解するために—

担当講師
農学部教授

川崎 秀樹

講座の内容

最近よく聞かれるようになってきた、ゲノム、遺伝子、細胞についてわかりやすく解説を行い、自分の体のことを理解してもらうことを目標にしています。

定員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

- | 月日 | テーマ |
|--------------|-----------|
| 1. 10月29日(土) | ゲノムと細胞 |
| 2. 11月5日(土) | 遺伝子と進化 |
| 3. 11月12日(土) | セントラルドグマ |
| 4. 11月26日(土) | 遺伝子実験について |
| 5. 12月3日(土) | 遺伝病について |

期日
6月28日～7月26日

曜日
火曜日

時間帯
13:30～15:30

18. 役に立つ気象学

—実生活にすぐ利活用できる役立つ気象学—

担当講師

農学部准教授

高橋 行継

講座の内容

日本ほど四季の変化が明瞭で、天気の変化が激しい国は世界的にみても少ないです。本講座では気象に関心を持ってもらい、巷に溢れる気象情報を上手に活用していく知識をお教えします3年シリーズの1年目です。

定員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月日

テーマ

1. 6月28日(火) オリエンテーション、
日本、そして関東の天気の特徴
2. 7月5日(火) 気象観測と天気
3. 7月12日(火) 天気図と天気予報
4. 7月19日(火) 高気圧と低気圧
5. 7月26日(火) 前線と台風

期日 曜日 時間帯
8月23日～9月8日 月・火・水・木 19:00～21:00

19. クラシック音楽への招待 3

ーオーケストラ音楽の楽しみ方 3ー

担当講師

農学部准教授
栃木県交響楽団

高橋 行継
荻町 修

講座の内容

クラシック音楽は「学校で教わる音楽」という堅苦しいイメージからか愛好者が少ないが、音楽の1ジャンルとしてより親んでもらうことを狙いとする。講座ではオーケストラ音楽を取り上げ、前半はオーケストラ生演奏を通じて、指揮者のトークで知られざるオーケストラ音楽の内側を紹介する。後半は室内楽生演奏によりオーケストラの楽器紹介、アマチュア奏者からみたオーケストラについて語る。

定 員 30名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日	テーマ	担当講師
1. 8月23日(火)	オーケストラの楽しみ方(1)	荻町・高橋
2. 8月24日(水)	オーケストラの楽しみ方(2)	荻町・高橋
3. 9月5日(月)	楽器紹介(木管楽器)、オーケストラの基礎知識	高橋
4. 9月7日(水)	楽器紹介(金管楽器)、アマチュア音楽(1)	高橋
5. 9月8日(木)	楽器紹介(弦楽器)、アマチュア音楽(2)	高橋

その他

○会場

8月23日(火)・24日(水)

宇都宮大学峰ヶ丘講堂

9月5日(月)・7日(水)・8日(木)

地域連携教育研究センター

期日 曜日 時間帯
6月11日～10月8日 土曜日 14:00～16:00

20. フィットネスウォーキング

ポールウォーキング・ヨガの運動を通じ、健康づくりとの出会いを学ぶ

コ-ディネーター

地域連携教育研究センター准教授 佐々木 英和

担当講師

ヨガインストラクター

遠藤 綾乃

ポールウォーキングコーチ

山形 正巳

講座の内容

ヨガ・ポールウォーキングの運動を通じ健康づくりを学び、出会いを通じて学びあう。日常生活で取り入れるための工夫を学び、日常生活でのやりがいと日常生活の心身の向上を目指す。

- ・ウォーキング効果を高めるヨガ体操
- ・2本杖を使った効果的なポールウォーキングの基礎と実践を学ぶ

定員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月日	テーマ	担当講師
1. 6月11日(土)	ポールウォーキングで健康・仲間づくり	山形
2. 7月9日(土)	ヨガの基本	遠藤
3. 8月6日(土)	ウォーキング効果を高める体作り	遠藤
4. 9月10日(土)	2本杖ウォーキング基礎と実践	山形
5. 10月8日(土)	ポールウォーキングの運動機能改善	山形

その他

会場 : UUプラザ と 大学校内(散歩道など)

○費用 : ヨガマットレンタル代100円/1回

: 専用2本杖ポールレンタル代500円/1回

○実技がある日は動きやすい服装でおこしください。

○飲み物やタオルなどご用意ください。

期日
5月27日～7月22日

曜日
金曜日

時間帯
10:00～12:00

21. ①基礎から学ぶ朗読講座 初級コース

—みんなで朗読を楽しもう—

コーディネーター

地域連携教育研究センター准教授

佐々木 英和

担当講師

役者・朗読家・和洋女子大学・東京アナウンス学院演技講師
秋元 紀子

講座の内容

朗読に興味があり、これから始めてみたい方の初級コースです。
発声や呼吸の方法から学び、みんなで楽しく読んでみましょう。

定員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月日 テーマ

1. 5月27日(金) 声を出すための筋肉について
2. 6月10日(金) 声の仕組みと発声について
(6月24日(金) 休講)
3. 7月 8日(金) 読むのではなく語る
4. 7月22日(金) 自身の体験が作品を豊かにする
5. 8月26日(金) 朗読の発表

その他

会場 : UUプラザ

○簡単なストレッチをしますので、動きやすい服装でお越しください。

期日
5月27日～7月22日

曜日
金曜日

時間帯
16:00～18:00

21. ②基礎から学ぶ朗読講座 中級コース

—みんなで朗読を楽しもう—

コーディネーター

地域連携教育研究センター准教授

佐々木 英和

担当講師

役者・朗読家・和洋女子大学・東京アナウンス学院演技講師

秋元 紀子

講座の内容

朗読や読み聞かせの経験があり、より深く勉強したい方のコースです。

定員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月日 テーマ

1. 5月27日(金) 声の仕組みと発声について
2. 6月10日(金) 滑舌について
3. 6月24日(金) 読解力がすべて
4. 7月8日(金) 伝える意識が間を生む
5. 7月22日(金) 朗読の発表

その他

会場 : UUプラザ

○簡単なストレッチをしますので、動きやすい服装でお越しください。

期日 曜日 時間帯
6月2日～6月30日 木曜日 16:00～18:00

22. 文化と人生

—生きるとは何か—

担当講師

元宇都宮大学客員教授

神長 善次

講座の内容

人生哲学を西欧、インド、日本古来の文化に学び明るく強く生きる術を検証する

定員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月日	テーマ	担当講師
1. 6月2日(木)	生きるとは何か(西欧的見方)	
2. 6月9日(木)	生きるとは何か(インド、日本の見方)	
3. 6月16日(木)	生と死(仏教、武士道、現代科学からの考察)	
4. 6月30日(木) 14:00～16:00	生命力(ヨガ、仏教、神道的考察)	
5. 6月30日(木)	明るく強く生きる実践法	

その他

○参考書として「世界の現実・日本の選択」(神長著、下野新聞社刊)、「(量子論から解き明かす)神の心の発見」(岸根卓郎著、PHP刊)をお勧めする

期日 曜日 時間帯
6月6日～11月14日 月曜日 14:30～16:30

23. ラフカディオ・ハーンと日本

—日本に魅せられた八雲の世界—

コーディネーター
国際学部教授 丁 貴連

担当講師
宇都宮文星短期大学非常勤講師 三成 清香

講座の内容

本講座は『怪談』の作者として知られるラフカディオ・ハーン（小泉八雲）について、特に14年間の日本滞在を概観しながら日本での活動に迫ります。

定員 15名

受講料 10,000円

プログラム 全10回

- | 月日 | テーマ | 担当講師 |
|---------------|-------------------------------|------|
| 1. 6月6日(月) | ラフカディオ・ハーン—来日までの半生— | |
| 2. 6月13日(月) | 日本との出会い—憧れの国、日本そして松江— | |
| 3. 6月20日(月) | サムライの娘、セツとの結婚 | |
| 4. 6月27日(月) | ハーンと日本の近代化
—熊本での絶望そして神戸へ— | |
| 5. 7月4日(月) | ハーンの晩年—再話活動の本格化— | |
| 6. 10月17日(月) | ハーンと再話活動
—語り継がれる「日本の」物語— | |
| 7. 10月24日(月) | 描かれた日本女性①「蠅のはなし」と
「雉子のはなし」 | |
| 8. 10月31日(月) | 描かれた日本女性②「和解」に込められた
二つの意味 | |
| 9. 11月7日(月) | 描かれた日本女性③「葬られた秘密」に見る
母性愛 | |
| 10. 11月14日(月) | ハーンから八雲へ | |

期日	曜日	時間帯
6月3日～7月1日	金曜日	13:30～15:30

24. 栃木で考える防災と災害復興

担当講師

教育学部教授	長谷川	万由美
地域デザイン科学部准教授	石井	大一朗
地域デザイン科学部准教授	近藤	伸也
地域連携教育研究センター特任研究員	土崎	雄祐

講座の内容

栃木県内に甚大な被害をもたらした平成27年9月関東・東北豪雨における事例をもとに、防災とは何か、平時から私たちができることは何かを考えていきます。

定 員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

	月 日	テーマ	担当講師
1.	6月3日(金)	地域防災・減災を考える	近藤
2.	6月10日(金)	災害復興と被災者支援	長谷川
3.	6月17日(金)	災害に強いまちづくり	石井
4.	6月24日(金)	私たち市民にできることは何かを考える	全員
5.	7月1日(金)	災害復興とボランティア	土崎・ゲスト

期日
10月20日～2月9日

曜日
木曜日

時間帯
13:30～15:30

25. ベーテルを考える（医療・福祉の町）

－真の共生を求めて－

担当講師

名誉教授

橋本 孝

講座の内容

2017年はドイツのベーテル医療・福祉の町ができて150年になります。この間ベーテルは障害者のために闘い、今日の素晴らしい町を作り上げました。ドイツの障害者との共生がどのように発展し、今どのようになっているのかを考えます。

定 員 20名

受講料 10,000円

プログラム 全10回

月 日

テーマ

1. 10月20日(木) ベーテルとは何か
2. 10月27日(木) ベーテル設立の動機
3. 11月10日(木) フリートリッヒ・ボーデルシュヴィンクについて
4. 12月1日(木) フランス（パリ）とフリートリッヒについて
5. 12月8日(木) ヨブ体験とは、そしてベーテルへ
6. 1月12日(木) 19世紀の福祉問題
7. 1月19日(木) 20世紀のベーテル
8. 1月26日(木) 息子フリッツ・フォン・ボーデルシュヴィンクの闘い
9. 2月2日(木) 第二次世界大戦と戦後
10. 2月9日(木) 現在のベーテル及び今後の課題

そ の 他

○テキストは必要に応じてプリントします。

○世界史のことを少し知っておいてくださると助かります。

期日	曜日	時間帯
9月28日～10月23日	水曜日	19:00～21:00
	日曜日	9:30～13:30

26. 自然とともに

コーディネーター

地域連携教育研究センター准教授 佐々木 英和

担当講師

宇都宮里山遊び達人協会会長 和氣 博之

講座の内容

自然はときに厳しく、そして優しく私達を包んでくれます。そんな自然に抱かれて私達は生きています。本講座はそんな自然を意識し感じるにより、改めて自然の魅力を再発見するものです。

定 員 10名

受講料 5,000円

プログラム 全3回

月 日	テーマ
-----	-----

1. 9月28日(水) オリエンテーション
2. 10月2日(日) 優しい自然 ～恵みを楽しむ～
3. 10月23日(日) 厳しい自然 ～その時、どうする？～

そ の 他

○**傷害保険料 400円**と**実費 1,000円**をご負担お願いします。

初回に集めますのでおつりのないようにお持ち下さい。

○ご家族内で中学生までは無料で参加できます。

(お子さまも傷害保険は加入していただきます。)

○2・3回は大学のバスを利用します。

正門案内所前9:20集合、9:30出発です。

野外活動のできる服装でお越し下さい。

昼食は自分たちで作って食べますので、お弁当は必要ありません。

期日	曜日	時間帯
9月6日～10月4日	火曜日	13:30～15:30

27. 民俗学からみた栃木No.7

－祭りに見る下野人の心意気－

コーディネーター

地域連携教育研究センター准教授 佐々木 英和

担当講師

栃木くらし文化研究所代表 柏村 祐司

講座の内容

栃木県内には、「鹿沼市今宮神社ぶつつけ祭り」や「烏山山あげ祭り」等全国的にも名の知れた祭りが数多くある。ここでは栃木県内の代表的な祭りについてその由来、祭りの内容、祭りの果たす役割等について映像を交えながら解説するものである。

定 員 20名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日	テーマ
-----	-----

1. 9月6日(火) 奇祭「小山市間々田のジャガマイタ」
2. 9月13日(火) 夏祭りの華「烏山山あげ祭り」
3. 9月20日(火) 絢爛豪華な彫刻屋台祭り「鹿沼市今宮神社ぶつつけ祭り」
4. 9月27日(火) 天下一の祭り「江戸時代の二荒山神社菊水祭」
5. 10月4日(火) 古式神事に則る「日光生岡神社の子供強飯式」

期日
8月6日～12月3日

曜日
土曜日

時間帯
13:30～15:30

28. いのちをいただきます

—食と農の視点で、食卓から健康までを考える—

担当講師

宇都宮大学認定 食農ファシリテーター 鈴木 知子
宇都宮大学認定 食農ファシリテーター 和久井 隆

講座の内容

放射能汚染により、食と健康への関心が高まる中、自然栽培による野菜の育て方から、個々の体質に合った食物の選び方、免疫力を上げる生活習慣、そして心の健康法まで幅広く学びます。

定 員 15名

受講料 5,000円

プログラム 全5回

月 日 テーマ

1. 8月6日(土) 畑の放射能汚染と対策
2. 9月3日(土) 大きいことは良いことか?
3. 10月1日(土) 困難に打ち勝つ力
4. 11月5日(土) あなたの体質は?
5. 12月3日(土) 自然の力・信じる力

そ の 他

- 材料費として、別途2,000円が必要です。
初回に集めますのでおつりのないようにお持ち下さい。
- 自然栽培で育った旬の野菜を味付け無しで食べていただき、毎回、自然栽培の野菜のお土産付きです。
- プログラムとは別に、希望者は自然栽培の畑(鹿沼市)をご案内します。

国際学部・国際学研究所

国立大学法人唯一の国際学部・国際学研究所では、国際的人材養成を目的とする教育を社会へ還元するために、公開講座や出張講義をとおして国際的な社会・文化事象に関する教育・研究成果をわかりやすく地域社会へ提供しています。

○ 国際学部社会人入試選抜学生募集

広く社会人を学部学生として受け入れるため、小論文・英語読解・面接などによる特別選抜を実施しています。

○ 国際学研究所博士前期課程社会人特別選抜学生募集

企業、自治体等で活躍している方、国際交流・貢献活動経験者等のキャリア・アップを目指す方、社会貢献を考えている団塊の世代、主婦などの社会人を、大学院博士前期課程の学生として受け入れるために、口述試験等による特別選抜を実施しています。勤務条件や通学時間を考慮した授業時期や時間を設けて、夜間や土曜日等にも開講しています。

○ 教育訓練給付制度の講座指定(国際社会研究専攻・国際交流研究専攻)

国際学研究所国際社会研究専攻生及び国際交流研究専攻生で、雇用保険の被保険者または被保険者であった期間が3年以上の方(ただし、初回に限り、1年以上の者)は、博士前期課程修了後、大学に支払った経費の20%に相当する額(上限10万円)の支給を受けられます。これは、雇用保険の給付制度です。詳細はハローワークへお問い合わせ下さい。

○ 国際学部・国際学研究所講演会・シンポジウム

年数回、その時々に応じた講演題目で学生・教職員を対象に学外の多様な方の講演会等を開いています。一般の方も参加することができます。

○ 国際キャリア開発プログラム

国際分野の豊富な経験を有する講師を招き、国際的な仕事の意義や知識を考えるワークショップやディスカッションを取り入れた2泊3日の合宿形式の集中授業である「国際キャリア開発」及び「International Career Seminar」を実施しています。他大学や一般の方も参加することができます。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

問い合わせ先(国際学部)

TEL: 028-649-5164 FAX: 028-649-5171

E-mail: koksomu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

<http://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career-program/index.htm>

[附属多文化公共圏センター]

附属多文化公共圏センターは、地域社会や自治体・市民団体などと協力して外国人やそのコミュニティと関連する課題の解決に貢献していくことを目的としています。

本センターでは、グローバル教育セミナーや国際連携シンポジウム、連続市民講座などを実施している他、地域の国際交流協会との交流事業も行っています。（第7回グローバル教育セミナー「アジアにおける社会起業とグローバル教育」、宇都宮大学生国際連携シンポジウム2014「いま、日中関係を考える～大学生からみた「過去」「現在」「未来」～」）

イベントの詳細については、随時ホームページにてご案内していますのでご覧下さい。

その他、次のようなプロジェクトも実施しています。

○福島乳幼児妊産婦支援プロジェクト (FSP)

栃木県に避難している乳幼児・妊産婦世帯等、栃木県北の未就学児世帯のニーズを、アンケート等を通して把握し、その状況について、報告会や要望書の提出を通して社会へ発信しています。

姉妹プロジェクト福島乳幼児妊産婦ニーズ対応プロジェクト (FnnnP) 栃木、及び学生ボランティア FnnnP Jr. 企画の避難者交流会にも協力しています。

○地域連携活動事業

地域振興や地域課題解決に貢献することを目的とし、地域に根付いたテーマでシンポジウムとスタディーツアーを開催しています。（2015年 田中正造没後100年記念「田中正造とアジアⅡ」 「日光プロジェクト世界遺産+1」）

問い合わせ先（附属多文化公共圏センター）

TEL/FAX : 028-649-5228

E-mail : tabunka-c@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

<http://cmps.utsunomiya-u.ac.jp/>

[宇都宮大学 HANDS プロジェクト]

文科省の特別経費プロジェクト(平成22-27年度)として、国際学部附属多文化公共圏センターと教職センター地域連携部門スクールサポートセンターが連携して「外国人児童生徒教育支援」に関する研究プロジェクトを進めてきました。以下の様な事業を6年間展開してきました。平成28年度からの事業については、現在検討中です。

○学校現場、教育委員会、大学との直接的な連携

- ・年に3回、栃木県教育委員会、外国人児童生徒在籍数の多い地域の教育委員会、管轄小中学校校長と「外国人児童生徒教育推進協議会」を開催しています。
- ・年に3回、外国人児童生徒教育拠点校の担当教諭を集め、「外国人児童生徒支援会議」を行っています。また、専用HP（だいじょうぶnet.）を立ち上げています。県内すべての教員ネットワークを構築しています。
- ・外国人児童生徒に対する教育補助として、本学から小中学校へ学生ボランティアを派遣しています。

○多言語による高校進学ガイダンス

- ・日本語がよく理解できない児童生徒や保護者を対象に、翻訳資料と通訳者を介して、日本の学校教育制度や高校進学に関する基本的な情報を提供する進学ガイダンスを開催しています。

○人材養成

・教育学部と連携して、授業科目「グローバル化と外国人児童生徒教育」を開講しています。

問い合わせ先（宇都宮大学HANDSプロジェクト事務局）

TEL/ FAX:028-649-5196

E-mail: tabunka-c@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

だいじょうぶnet.: <http://www.djb.utsunomiya-u.ac.jp/>

教育学部・教育学研究科

○フレンドシップ事業（児童・生徒）

学生と子どもたちが直接ふれあい、体験を通して実践的に学ぶ機会を提供しています。科学実験、野外教育（4泊5日の集中授業の中で後半3日間、宇都宮市冒険活動センター主催の「冒険キャンプ」と合流し、参加小中学生とともに指導員の下で活動）、環境教育、宇都宮大学近隣小学校での地域行事等にて造形教育を行っています。また、小・中学校教員や指導主事、教育現場経験のある大学教員の講演・シンポジウムや教育映画の上映も行うこともあります。

○授業見学（高校生及び保護者）

高校生に教育学部をよりよく知ってもらうために学部の授業見学を秋のオープンキャンパスにて開催しています。

○説明会、高校訪問等

教育学部の紹介・進学説明会は夏や秋のオープンキャンパスで、高等学校からキャンパスに来ていただいで行いますが、大学教員が、高等学校に出向いて実施することもできます。

○教育学部出張講義

教育学への関心を高めるため、本学部教員が出向いて出張講義を行っています。

問い合わせ先（教育学部）

TEL : 028-649-5242 FAX : 028-649-5244

E-mail : kyisomu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

〔附属幼稚園〕

○公開研究会（教育関係者・学生）

教育改革の大きなうねりの中、幼児教育への課題は山積しています。カリキュラムの検討、指導法の工夫、教師の資質向上等をめざし、開催しています。本園の研究および保育を公開するとともに、幼児期の教育に関する様々な課題について協議していくことを目的としています。本年度は、6月下旬の開催です。

○保育を語る会（教育関係者・学生・一般）

年間3～4回、地域の幼稚園、保育所、小・中・高・特別支援学校の教員が問題提起や事例発表をしながら保育現場での様々な問題について協議を深めていきます。大学の教員をはじめ保育士養成学校の教員、臨床心理士等、地域社会に広く参加者を募っています。一部は栃木県幼稚園連合会と共催で実施しています。

○ オープンキャンパス（入園を希望する保護者・一般）

毎年10月下旬～11月上旬の2日間、本園に入園を希望する幼児とその保護者を対象に開催しています。保育参観、施設設備の参観、教育方針および教育内容に関する説明等、附属幼稚園の概要について理解を得ることを目的としています。

問い合わせ先（附属幼稚園）

TEL：028-622-9051 FAX：028-625-8016

E-mail：fuyo@cc.utsunomiya-u.ac.jp

〔附属小学校〕

○ 初等教育公開研究発表会（教育関係者・学生）

教育の理論や実際についての研究の成果を、毎年6月上旬の3日間にわたり公開しています。内容としては、国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、家庭、体育、生活、道徳、英語の時間、総合の時間、特別活動の公開授業、およびその研究協議、講演会、パネルディスカッション等となります。県内の教員や学生はもとより、全国から教育関係者を招き、指導法の工夫や教育の今日的課題について協議するとともに、新しい小学校教育のあり方を提案しています。

○ オープンキャンパス（入学を希望する保護者・一般）

毎年11月下旬～12月上旬の1日間、本校に入学を希望する子どもとその保護者を対象に行っています。本校の教育方針や教育内容、受験に際しての留意事項等について説明するとともに、授業や施設・設備等を自由に参観していただくことをとおして、普段の附属小学校の様子を紹介しています。

問い合わせ先（附属小学校）

TEL：028-621-2291 FAX：028-625-8015

E-mail：ichigo@cc.utsunomiya-u.ac.jp

〔附属中学校〕

○ 教員研修会（教育関係者）

11月下旬、県内外の教員が自分の課題をもち、本校教員とともに研修し課題解決の一助とし、教職に関する資質の向上を図ることを目的として、宇都宮大学教育学部の教員を交え、ディスカッション等を実施しています。

研修実施教科：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語（英語）

○ 公開研究発表会（教育関係者・学生）

毎年6月下旬、教育学部と連携して、公開授業を通して新しい中学校教育の在り方の提案を行います。

○ 中高連携のための授業公開（高等学校教員）

高等学校教員を対象に、事前連絡をいただいた上で、随時授業公開をしています。

○ 入試に関わる学校見学（受験を希望する児童・保護者）

毎年10月下旬～11月末、本校の設定日にご予約をいただいた上で、希望者に子供たちの普段の学校生活を公開しています。

問い合わせ先（附属中学校）

TEL：028-621-2555 FAX：028-625-2781

E-mail：jhs@cc.utsunomiya-u.ac.jp

〔附属特別支援学校〕

○オープンキャンパス(幼児児童生徒・保護者・一般)

特別支援学校に入学を希望している幼児児童生徒、その保護者、担任等に対して、本校の教育について理解していただくための情報提供の場としています。その内容は、本校概要の説明、授業参観、施設設備の見学などです。なお、本校の教育に関心のある方の参加も受け付けています。本年度は、7月6日(水)、9月1日(木)に開催を予定しています。

○特別支援教育担当者研修会(特別支援教育の担当者)

特別な支援を必要とする幼児児童生徒の指導担当者の方を対象に研修会を行っています。内容は講師の先生を招いての講演や実技指導、指導上の課題についての質疑応答などです。

○公開研究会(教育関係者・福祉関係者・行政関係者・学生)

平成28年2月19日(金)に行います。

問い合わせ先(附属特別支援学校)

TEL: 028-621-3871 FAX: 028-627-4561

E-mail: tokubetsushien@cc.utsunomiya-u.ac.jp

工学部・工学研究科

○グローバル・サイエンス・キャンパス(GSC)およびスーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)(高校生)

文部科学省が開始した事業であり、その趣旨に沿い、高校と連携しながら教育・研究施設の開放、講座の開講、研究指導などを行っています。

○工学部体験教室(小学生～高校生)

実験や授業をとおして工学を身近に触れることによる知的啓発を進めています。

○3Cものづくり経営基礎講座(学生・一般市民)

宇都宮大学の3C精神(Challenge: 挑戦、Change: 変化、Contribution: 貢献)に基づいて、自主性を育み、経営戦略、マーケティング戦略、技術経営等の基礎を学べるものづくり経営に関する入門講座を、栃木県産業界や官界からの支援を受けて、大学院講義として開講しますが、一般社会人の受講も広く受け入れています。

○産学連携セミナー・シンポジウム(一般市民)

地域共生研究開発センターなどとの共催で産学連携の積極的推進を図るためのシンポジウムを開催しています。

○最先端技術特別講演会(学生・教職員・一般市民)

情報工学分野を中心とした最先端技術を、外部の著名な方々を講師に招いて、分かりやすく解説します。

○さくらフェスタ(一般市民)

4月初旬の満開の桜のなか、地域の方々に、工学部・工学研究科の活動や研究内容を親しみやすく紹介しています。花見がてら、親しんでいただける企画です。

問い合わせ先（工学部）

TEL : 028-689-6005 FAX : 028-689-6009

E-mail : kousomu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

農 学 部

○ 農学部シンポジウム

年数回、学生や教職員、学外者を対象として、様々な分野の国及び国際シンポジウムを開催しています。

○ アグリカレッジ

栃木県内の農業関係高校と宇都宮大学農学部の高大連携事業の一環で、農学に対する向学心を深めるために、「農業を科学する」をメインテーマとして毎年開講します。

○ スーパーサイエンスハイスクール(SSH)及びサイエンス・パートナーシップ・プログラム

(SPP) 県内外の高校がSSHやSPPを申請する際に農学部および関連施設の教員支援し、講座を開講し、また学内のさまざまな施設の見学を実施します。

○ アグリ支援機構

地域貢献の推進を図るため、平成16年4月より発足した組織です。日常にある「農」に関する質問や講演・技術指導および受託研究や共同研究のご相談などをお受けしています。

詳しくは、下記URLをご覧ください。

アグリ支援機構HP

<http://agri.mine.utsunomiya-u.ac.jp/agri/index.html>

問い合わせ先（農学部）

TEL : 028-649-5398 FAX : 028-649-5401

E-mail : nousomu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

<http://agri.mine.utsunomiya-u.ac.jp/>

〔附属農場〕

○ 「お米と果物とミルクの不思議体験教室」（小学生と保護者）

「お米と果物コース」は、春から秋にかけて5～6回のシリーズで実施しており、季節の変化に伴う生育過程の観察や田植え、摘果さらに収穫・試食までの実体験をします。「ミルクコース」では牛の乳搾りや給餌、羊の毛刈りなどを体験できます。

○ 「バイオテクノロジー体験教室ークローン牛誕生の秘密に迫る!」（中学生と教諭）

実験室ではウシの体外授精やクローン胚作出実験を、牛舎ではウシ受精卵の親牛の子宮への移植や子宮内の胎子の様子の観察などを体験します。

○ オープンエコファーム（開放農園）事業（一般市民等）

有機栽培に興味があり取組もうとする一般市民等に対して、野菜畑作物等の有機農業を実践・実習してもらうとともに指導も行います。

○ 小・中学校教員のための園芸技術講習会

学校の花壇や空き空間を生かした植物栽培の基礎知識やノウハウの伝授、さらにはコンサルティングまで、現場教員の皆さんの

広い要望に対応しています。

問い合わせ先（附属農場）

TEL : 0285-84-2424 FAX : 0285-84-2425

E-mail : fuznoujy@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

〔附属演習林〕

○「おいでよ！森のがっこうへ」（大学の森をたんけんしよう！
（小学生と保護者）

夏休みに1泊2日で実施しており、森林（里山）における動物観察、林業体験をとおして自然との触れ合い体験ができます。

問い合わせ先（附属演習林）

TEL : 0287-47-0057 FAX : 0287-47-0366

E-mail : fuzensyu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

雑草と里山の科学教育研究センター

本センターは、自然に暮らす生き物と、われわれ人間との間に生じた人間活動に起因する軋轢、特に雑草と野生鳥獣が引き起こす問題の解決に様々な視点から取り組み、その成果を社会に還元していきます。

本センターでは次のような公開セミナー、シンポジウムなどを不定期に実施していますので随時ホームページのお知らせをご覧ください。

○ 公開セミナー（学生・一般市民）

センター教員や国内外の著名な研究者を講師として、雑草や野生鳥獣の管理、環境の修復・保全に関連した内容で不定期に実施しています。

○ シンポジウム（企業人・一般市民）

著名な国内外の研究者を招へいし、雑草や野生鳥獣の管理に関するシンポジウムを開催しています。

○ センターの一般公開（高校生・教員・一般市民）

大学のオープンキャンパス時に雑草と里山・バイオ棟、温室等の施設見学とともに研究内容の紹介を行っています。同時に一般市民も対象にし展示も行い、雑草及び野生鳥獣における私たちの暮らしの関わりについてわかりやすく説明します。当日は「何でも相談室」を設けて雑草害や野生鳥獣害に関わる相談に応じています。

オープンキャンパス時以外でも施設見学や雑草及び野生鳥獣に関する相談を随時受け付けておりますので、ご希望の方は事前にご連絡下さい。

問い合わせ先（雑草と里山の科学教育研究センター）

TEL : 028-649-5148 FAX : 028-649-5155

E-mail : imfo_cwww@cc.utsunomiya-u.ac.jp

http://cwww.mine.utsunomiya-u.ac.jp

バイオサイエンス教育研究センター

当センターは、学内的にはバイオサイエンスの教育と学術の発展に貢献し、研究支援を通しての人材育成を目指しています。また学外には、農学部および工学部を有する本学の特色を生かし、地域と連携したバイオサイエンス研究やバイオテクノロジーの啓発、および応用研究の中核として新たな領域を開拓することを目的としています。これらの目的を達成するために、以下のような公開講座を開講しています。

○ センターセミナー（学生・教員・一般）

バイオサイエンス分野の研究者を学内外から招聘して、研究内容や成果を紹介してもらうセミナーです。

○ バイオテクノロジー体験講座（高校生・教員・一般）

毎年夏休みに高校生を主な対象として開講しています。「DNAとはなにか？」という基本的な講義や「お米のDNA鑑定」など実際にDNAを扱う実験を体験できます。

○ 高大連携講座（高校生）

科学技術振興機構の科学技術理解増進事業の支援を受けたSSHやSPPを県内の各高等学校と連携して、遺伝子実験講座を実施しています。

○ 科学実験講座（小学生・中学生・一般）

主に植物を対象とした実験を体験してもらうことで、植物の不思議に迫ります。

[放射性同位元素実験室]

放射性同位元素実験室は、放射性同位元素を利用したトレーサー実験等を行うことができる学内共同利用施設として整備運用されています。

○ 教育訓練（学生・教職員）

放射線を取扱うに当たっては、事前に教育訓練を受講するとともに、所定の健康診断を受診することが義務付けられています。本実験では本学の教職員及び学生を対象とした放射線障害を防止するための教育・訓練を毎年5月に行っています。

問い合わせ先（バイオサイエンス教育研究センター）

TEL : 028-649-5527 FAX : 028-649-8651

E-mail : c-bio@cc.utsunomiya-u.ac.jp

http://c-bio.mine.utsunomiya-u.ac.jp

総合メディア基盤センター

本センターでは、ICT分野における教育研究、及び研究開発を推進しております。また、国際規格であるISO/IEC 27001 認証を取得・維持しており、マネジメントシステムによるPDCAサイクルに基づいて、情報セキュリティに関する教育・啓発活動も行っています。

○ICT セミナー（企業人・学生）

ICT（情報通信技術）の最新動向や、情報セキュリティマネジメントについての講演会を開催しています。

問い合わせ先（総合メディア基盤センター）

TEL : 028-649-8620 FAX : 028-649-5439

E-mail : sec@cc.utsunomiya-u.ac.jp

地域共生研究開発センター

本センターは、民間機関、他大学等からの技術相談や学内研究者との間に実施される共同研究・受託研究、研究交流等を推進するとともに、総合的・先端的な研究開発を行い、これらの情報の発信による地域社会との連携や協力を実践する場としての役割を果たしております。また、企業人、一般市民を対象とした各種の研修会、講座、講演会などを通して科学・技術についての啓発活動に注力しています。

更に、本学の研究成果や知的財産権の産業界への技術移転推進や民間機関、他大学等からの特許相談を行うとともに、知財セミナー等を開催することにより、地域の知的財産意識の向上を図っています。

○分析機器開放

本センターの先端計測分析部門が保有する分析機器を一般企業の方々が気軽に利用しやすい料金で利用することができます。

○ 研究シーズ発表会（企業人・一般市民）

宇都宮大学の研究成果や新技術を広く発表し、成果の普及による実用化を図っています。

○ 各種セミナー（企業人・一般市民）

現在の最先端の科学・技術や社会の出来事に関する話題を一流の講師陣を招聘し、楽しみながら学ぶ機会を提供しています。

○ 知的財産セミナー（企業人・一般市民）

知的財産権の取得・活用等に関する講義や最新の動向について、弁理士などの知的財産の専門家がわかりやすく解説します。

○ 特許相談（企業人・一般人）

知的財産権に関するあらゆる相談に応じています。

問い合わせ先（地域共生研究開発センター）

TEL : 028-689-6316 FAX : 028-689-6320

E-mail : chiiki@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

教 職 セ ン タ ー

本センターは、教育実践部門、地域連携部門、教職支援部門及び教職企画調整室で構成されています。そのうち地域連携部門では、以下のような事業を行っています。

- **学校等支援ボランティアの派遣（学生・学校・教育委員会）**
学校等の要望に基づいてボランティアの学生を派遣しています。
- **教育実践インターンシップ事業（学生・学校・教育委員会）**
教育委員会と連携し、教育現場で履修学生の実践的な職業体験を行っています。学生自ら考案した企画を現場教員と相談しながら実践し、その結果を振り返ります。
- **校内研修などへの教員の派遣（学校・教育委員会）**
学校課題の解決、授業研究会、教育委員会の研修や講演などに専門の大学教員を派遣しています。
- **教職員サマーセミナーの開催（教員）**
栃木県総合教育センターとの共催で、夏期に学校教員対象のセミナーを10講座実施しています。
- **教員免許状更新講習の運営（教員）**
宇都宮大学教員免許状更新講習の運営を修学支援課とともに担っています。
- **栃木県教育研究発表大会の開催（教員・学生）**
栃木県総合教育センター、宇都宮大学教育学部と共催で、毎年1月に行われる栃木県教育研究発表大会の運営を担っています。

問い合わせ先

（教職センター）

TEL : 028-649-5272 FAX : 028-649-5334

E-mail : kyosyoku@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

附 属 図 書 館

附属図書館では、地域に開かれた知の拠点として、当館が所蔵する教育研究のために収集した貴重な学術情報資源を、地域の皆様の生涯学習を支援するために広く開放しています。学術や生涯学習に関わる調査・研究を目的として、資料閲覧を希望する方で18才以上であればどなたでも利用できます。

○ 開館時間

平日 9:00～21:00（休業期間中は9:00～17:00）

土日祝 11:00～17:00

○ 休館日

祝日、年末年始、臨時休館日（工学部分館は日曜、祝日、振替休日、休業期間中の土曜日）

○ 利用手続き

入館の際、閲覧許可願にご記入をお願いします。入館システムが設置してありますので、その都度臨時の入館カードで入館していただきます。既に図書の出借証をお持ちの方は、それが入館カードになります。

図書館で初めて図書を借りる時には、利用者登録申請が必要です。

身分を証明できるもの（運転免許証等）をご持参ください。図書貸出証を発行します。

○ 利用の範囲

館内の資料閲覧、文献複写及び図書の館外貸出ができます。ただし、文献複写については、著作権法の範囲内でお願います。

○ 図書の貸出条件

図書5冊、2週間まで借りることができます。

○ その他

利用に際しては、利用規程及び注意事項を遵守してください。ご不明な点があれば図書館職員にお尋ねください。

問い合わせ先（学術研究部図書課）

TEL : 028-649-5130 FAX : 028-649-5138

E-mail : tossoumu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

オプティクス教育研究センター

本センターは、我が国の光学技術をリードできる人材育成と研究領域の創成及び進展を目指し、オプティカルサイエンス及びテクノロジー分野における教育研究活動の推進に貢献します。

本センターでは次のような公開セミナーを不定期に実施していますので随時ホームページのお知らせをご覧ください。

○ オプティクス教育研究セミナー（学生・一般市民）

センター教員や国内外の著名な研究者を講師として、オプティクスに関連した講演会を不定期に開催しています。

○ 技術者と学生のためのオプティクス応用セミナー（企業人・学生）

光科学や光技術に関する講義や実習を不定期に実施しています。

○ センターの一般公開（高校生・教員・一般市民）

大学のオープンキャンパス時にセンター棟の施設見学とともに研究内容の紹介を行っています。

オープンキャンパス時以外でも施設見学や光に関する相談を随時受け付けておりますので、ご希望の方は事前にご連絡下さい。

問い合わせ先（オプティクス教育研究センター）

TEL : 028-689-7074 FAX : 028-689-7075

<http://www.opt.utsunomiya-u.ac.jp/>

U U プラザ

UUプラザは、教育研究情報の公開や最新の教育研究成果を発信して地域連携・貢献・協働を目指す場であるとともに、学生・教職員、同窓会、OB/OG、受験生とその保護者など地域の方々が広くコミュニケーションを図る場として、利用できます。

○ 開館時間

平日 9:00～17:00

○ インフォメーションフロア（1階）

パンフレットの配布・閲覧、教育研究成果の展示等を行っています。懇談スペースは、どなたでも自由にご利用いただけます。

○ コミュニティフロア（2階）

可動式の椅子・テーブル、プロジェクタを備えた多目的スペースです。利用予約が入っていない時間は、懇談スペースとしてご利用いただけます。

貸し切りでのご利用は、半日（4時間以内）6,400円、全日（4時間を超え8時間以内）12,800円が必要となります。（本学学生、教職員、同窓会及び近隣地区自治会は無料です。）

問い合わせ先（企画広報課）

TEL : 028-649-8637 FAX : 028-649-5026

E-mail : kkikaku@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

事務局

○ オープンキャンパス

毎年夏と秋に、学部学科や各教育研究センター等の施設の紹介及び体験授業や研究室見学等を行うオープンキャンパスを開催しています。（企画広報課）

○ 宇都宮大学説明会（随時）

高等学校等へ出張し、宇都宮大学説明会を行います。ご希望がありましたら下記までお問い合わせください。（企画広報課）

○ 出前授業（随時）

高等学校への出前授業を実施しています。講師派遣の可能な時期や申込方法についてはホームページをご覧ください。ご希望の日時によってはお引き受けできない場合もありますので、予めご了承ください。

（企画広報課）

○ 大学見学会（随時）

高等学校生徒・教員（団体・個人）、保護者の方、一般市民の方向けに、本学の学部・学科やその教育内容を紹介するとともに、キャンパス内を見学し、本学への理解を深めていただいています。受入可能な時期や申込方法についてはホームページをご覧ください。ご希望の日時によってはお引き受けできない場合もありますので、予めご了承ください。（企画広報課）

○ 科目等履修生制度

生涯学習の推進を図ることを目的とし、社会人等に対して学習機会を拡大する観点から設けられた制度です。特定の授業科目の履修を希望する方に対して、授業に支障のない範囲において選考の上、授業科目の履修を許可しています。また、特定の専門事項について研究指導を希望する場合には、研究生制度があります。
(修学支援課)

○ 大学祭（峰ヶ丘祭）

毎年11月に、峰ヶ丘祭実行委員会（学生団体）主催による大学祭が実施され、本学の教育・研究、サークル活動などの各種の展示、研究発表、活動報告などを公開し、また、各種シンポジウム、模擬店、花火などを開催しています
(学生支援課)

○ 社会人特別入試

一度社会に出て、専門分野の必要性から大学入学を希望する方、また生涯学習という観点から、定年を迎え再教育を受けて知識の修得を目指す方を受け入れる。
(入試課)

問い合わせ先

(企画広報課) TEL : 028-649-8649 FAX : 028-649-5026
E-mail : plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

(修学支援課) TEL : 028-649-5090 FAX : 028-649-5095
E-mail : shu-nou@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

(学生支援課) TEL : 028-649-5097 FAX : 028-649-5115
E-mail : gakgakus@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

(入 試 課) TEL : 028-649-5112 FAX : 028-649-5113
E-mail : gaknyuu1@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

- ①公開講座受付および実施会場
- ②車両入構パスカード受取場所

地域連携教育研究センター以外で 実施する講座の会場

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 「伝え方」と「伝わり方」との隙間 | ④5B21教室
(峰町5号館B棟2階) |
| 2. 男女共同参画による地域づくり | ④5B21教室
(峰町5号館B棟2階) |
| 4. 現地で学ぶ「宇都宮学」 | とびやま歴史体験館
(学外) |
| 6. 宇都宮城と蓮池8 | ⑨大学会館 多目的ホール・トークルーム I |
| 9. 韓国料理の魅力／10. タイ料理入門 | ⑤調理実習室
(峰町8号館B棟2階) |
| 14. 書道 | ⑥書道教室
(峰町6号館2階) |
| 19. クラシック音楽への招待3 | ⑧峰ヶ丘講堂・他 |
| 20. フィットネスウォーキング | ⑦UUプラザ・他 |
| 21. 基礎から学ぶ朗読講座 | ⑦UUプラザ |

* **入構許可証**は地域連携教育研究センターで発行します。

* **車両入構パスカード**は**毎回**正面案内所にて受け取って下さい。

* 上記以外で、宇都宮大学以外の施設を利用する講座につきましては「公開講座科目内容の紹介」をご覧ください。

* 諸般の事情により、会場が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。その場合は、当該講座の受講者へ直接ご連絡致します。

* **車でお越しの受講者は必ず大学会館南側の駐車場に止めて下さい。**
センター前の駐車場はご利用頂けません。

VIII
宇都宮大学校内建物配置図 (峰キャンパス)



